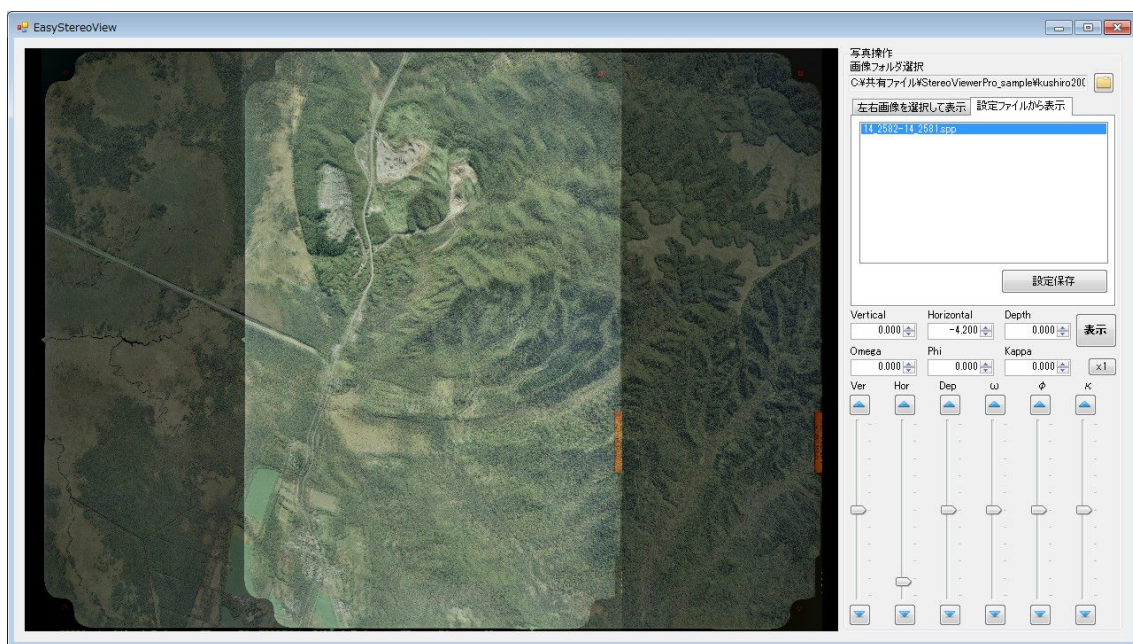


EasyStereoViewer 操作説明書

EasyStereoViewer は画面上に 2 枚のステレオペア写真を表示し、互いの相対位置関係を手動で調整することによってステレオ実体視するソフトです。

表示できる画像は JPG,TIFF 形式です。

実体視したい画像ファイルさえあれば、事前の準備なしで PC 上で実体視が行えます。



◆ 基本操作

マウスドラッグ・・・画面の移動

マウススクロール・・・拡大縮小

◆ ステレオ画面表示までの流れ



1. 画像フォルダ選択ボタン（フォルダの絵）で、画像があるフォルダを選択する。
2. ステレオ視の対象となる左右画像を各々選択する。
3. 表示ボタン押す。

左右画像リストの間のボタンは以下の通り。

ボタン - 左右のリストの選択対象を一つ上にずらす

ボタン - 左右のリストの選択対象を一つ下にずらす

ボタン - 左右の画像を入れ替える

L 回転ボタン - 左画像のみを反時計まわりに 90° 回転

R 回転ボタン - 右画像のみを反時計まわりに 90° 回転

ここまでの操作で左右の画像が表示されますが、位置や角度を調整しないとステレオ画像として見れません。

次項の画像位置の調整に進んでください。

画像位置の調整



画像位置の調整は、右下にあるスライダー・ボタン、または数値の直接入力で行います。各項目の説明は以下の通り。

Vertical - 縦方向の調整

Horizontal - 横方向の調整

Depth - 奥行き方向の調整

Omega() - X 軸を中心としての回転

Phi() - Y 軸を中心としての回転

Kappa() - Z 軸を中心としての回転

調整する際にスライダーが振り切れてしまう場合は、赤枠で囲ったボタンを押すことによって、スライダーで動く幅を変更することが出来ます。

また、スライダー上部にあるラベル (Ver/Hor/Dep/ / /) のクリックで、クリックした項目の値をリセットすることが出来ます。

調整した値は、設定ファイルとして保存が出来ます。

設定ファイルを保存すると、調整済みのステレオ画像がすぐに関けるようになり便利です。

デフォルトでは、表示している画像フォルダに[左画像ファイル名-右画像ファイル名.spp]として保存されます。

◆ 設定ファイルからのステレオ表示



保存した設定ファイルから表示するには、画像フォルダの選択で設定ファイルを保存しているフォルダを指定し、「設定ファイルから表示」のタブをクリックします。選択されているフォルダ内にある設定ファイルがリストに表示されるので、選択して「表示」ボタンをクリックすると保存されたパラメータで画像が表示されます。